

弥生杉が倒れて・・・

九州地方で停滞した強い台風 10 号は、3000 年の雨風に耐えてきた幹まわりが 8.1m もあった屋久島の弥生杉を倒しました。プロのバレーボールリーグで活躍していた選手が、ロシアのウクライナ侵攻により左脚を失い、ウクライナのシッティングバレーボールの選手としてパラリンピック・パリ大会に参加しています。台風 10 号の暴風雨が長く続かなければ、ロシアの侵攻が無ければ、今まで通りの雄姿を私たちに見せてくれたことでしょう。

改めて、今私たちが体感する『当たり前』に感謝をしなければと思いました。

さて 7 月以降、会員増強・一色委員長と共に、色々な業種の法人を訪問しておりますが、なかなか成果が出ずにいます。会員増強の取り組みは、『こうすれば必ず入会いただける』といった方程式がない、いわゆる「適応課題」ですが、これからもめげることなく続けてまいります。

龍野ロータリークラブの例会が毎週開催できるという「当たり前」を、龍野ロータリークラブの良き伝統の継承と拡大を確かなものにするため、お時間の許す限り会員拡大に皆さまのご協力をお願いいたします。

ガバナー補佐アッセンブリー

会長報告 ●会長 片岡孝次



2024-25 年度会長エレクト研修では、①多様性 Diversity・公平さ Equity・インクルージョン Inclusion (DEI) に照らした複数年にわたるクラブのビジョンと行動計画の作成、②危機管理（ハラスメント）について、高潔さ・高い倫理観をもち行動できるよう、年 1 回会員を対象にした研修を実施すること、③会員数純増 2 名を達成するために 20～40 代の会員を迎え入

れることができるかを考えること等、指導いただきました。

私は、「数は力なり」、「入りて学び、出でて奉仕せよ」に鑑みて、「入りて学ぶ姿勢のある方々」を可能な限り招き入れ、クラブの多様性向上のため、特に、30 代から 50 代の会員増強に、皆さんと共に力を尽くしたいと考えています。

私が入会した 2002-03 年度、会員数は約 70 名。最年少者と最年長者の年の差 55 歳、例会出席者は 50 名以上だったのに比して、2024-25 年度初めには、年齢差は 41 歳、会員数は 29 名、例会出席者 20 名程となり、年齢差は 25%減、会員数も 54%減、例会出席者数は 65%減となり、食事中の談話、例会卓話、家族イベントなど、大きく多様性が損なわれたと感じています。

私は、会員一人一人がロータリーの例会やイベントに、ワクワク感を持って参加いただけるクラブへと再生するべく（ワクワク感とは、良い発想、良い循環を生むと私は考えているからです。）例会卓話は、①会員による会員に気づきを与える卓話。あるいは、②会員候補者となり得る方々による卓話とし、業種業態の異なる方々のお話を聞き「ワクワク体験」をしていただき、「もっとワクワクしたい！あの人の話を聞きたい！」と思う気持ちを原動力に、全ての会員が意識せず会員増強に取り組むクラブにしたいと考えています。

会員数が少ない中、本年度はあえて、クラブ奉仕部門の委員会を細分化しました。例会を含む全てのプログラムは「理事・役員・委員長が決めるもの」という空気を一掃し、全員参加でクラブを運営し、ムード・風土・熱気を改善したいという思いからです。

お仕事の都合上、例会出席がかなわない会員にも、ロータリーの仲間とつながっていることを感じていただきたいと考えています。本年度は、全ての会員が龍野ロータリークラブの活動に「参画・参加」できたことを実感できる年度を目指します。

委員長報告 ●クラブ奉仕委員会 委員長 伊藤充弘



1. 委員会構成

クラブ奉仕委員会は本年度の中心的な役割を果たすべく、片岡会長の思いがこもった委員会構成となっています。片岡会長が毎回声に出し行動されているように、新会員を増やすということが必ず実行できるような思いのこもった構成です。

経験したことのない会員数でのスタートとなり、片岡会長と池田幹事は相当なご苦勞があったことと思

います。通常であれば人数に合わせて委員会の数を絞ったり、事業の縮小を考えてみたりという対応もあったと思いますが、逆に会員増強を達成し、なおかつクラブ事業もできる限り実施するという方針のもと、会員すべての皆様の積極的な参加を期待いたします。

以上を具現化すべく以下のような構成となっています。

会員増強委員会	一色委員長
会員選考委員会	神名委員長
親睦委員会	段委員長
例会担当委員会	富田委員長
情報委員会	本條委員長
雑誌委員会	富田委員長
出席委員会	森口委員長
広報委員会	荻野委員長

2. 基本方針

一色会員増強委員長のもと、神名委員長とタッグを組んでいただき、面談をスケジュール化することで確実に実施し、三顧の礼をもって新しい会員をお迎えし、会員増強を実現します。

創立以来、龍野クラブの柱となっている親睦事業ですが、お酒が飲めない段委員長にお願いしていますので、多くの皆様のご参加とご協力を期待しています。

例会担当および雑誌委員会の富田委員長、情報委員会の本條委員長には会長経験者としての情報提供もお願いしたいと思います。

例会だけでなく、いろいろな事業への出席を促していただく出席委員会は森口委員長、週報等PRを担う広報委員会は荻野委員長にお願いしております。

どの方もお忙しい方々ばかりですので、お互いに助け合ってスムーズにクラブ運営ができるよう、ご協力のほどお願いいたします。

委員長報告 ●職業奉仕委員会 委員長 北村 博（代読：池田幹事）



1. 基本方針

あらゆる可能な機会を捉えて職業奉仕を学びます。
また、会員が職業奉仕に関する責務を遂行する上で役立つ諸策を考案・実施します。

2. 活動内容

- （1）職場例会（移動例会）を2024年10月24日に実施します。奉仕の理想が実践されている企業・団体を訪問し、地域活性化を事業目標として取り組まれている経営者の事業観、経営理念について学びます。
- （2）2025年1月23日に職業奉仕委員会アワーを開催します。
- （3）地区職業奉仕セミナーに参加します。

委員長報告 ●社会奉仕委員会 委員長 崎野圭子（代読：池田幹事）

1. 基本方針

ロータリーの社会奉仕活動に対する理解を深め、地域のニーズに沿った活動を実践し、活動をととしてロータリーの公共イメージ向上に努めます。

2. 活動内容

(1) こども日本語支援入門講座（8月25日、9月1日・8日・29日）

たつの市では在住外国人小学生が年々増えており、その日本語能力の不足が多文化共生の障害となっています。現状では対応する日本語教室の指導員が不足している為、たつの市国際交流協会と共同で、日本語教育に当たるボランティア指導員育成のための講習会を開催します。

(2) 社会奉仕委員会アワー（9月12日）

外部スピーカーを招聘し、社会奉仕活動や公共イメージ向上についての理解を深めます。

(3) 障害者支援施設での演奏会（10月20日）

障害者支援施設「しろう自立の家」に於いて、施設入居者と地元市民がクラシック音楽の演奏会を共に楽しむことにより、DEI理念の普及と共生社会の推進を図ります。

また、演奏会の広報を通じて、地域社会に対する課題共有と関心喚起に努めます。

委員長報告 ●国際奉仕・青少年奉仕委員会 委員長 高田真也



I 国際奉仕

1. 基本方針

「平和、希望、輝き、DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）」を根底とした世界情勢理解に努めます。

2. 活動内容

(1) 国際奉仕月間に国際奉仕委員会アワーを実施します。(2月13日)

(2) 地区国際奉仕セミナーへ参加します。

(3) 地元地域の国際交流協会をサポートします。

II 青少年奉仕

1. 基本方針

次世代を担う青少年の健全育成に努めます。

2. 活動内容

青少年奉仕月間における青少年奉仕委員会アワーにおいて講話を行います。(5月15日)



1. 基本方針

ロータリー財団及び米山記念奨学会の目的・目標を周知し、会員の理解を深め、寄付の奨励に努めます。

2. 活動内容

(1) 財団についての理解を深めるために、財団月間の財団委員会アワー（11月14日）にて、会員の

理解を深める企画を行います。

(2) 年次基金への寄付を募ります。

年次寄付金 160 米ドル／人以上を目標に募り、地区の年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成に寄与します。

当クラブのロータリー財団への寄付額は、2024 年 6 月現在で 345,497 米ドルです。ポール・ハリス・フェロー等は以下の通りとなっています。

マルチプル・ポール・ハリスフェロー	17 名
ポール・ハリス・フェロー	6 名

* 現会員のみ

(3) ポリオ根絶活動を推進します。

会員にポリオ根絶活動の理解を得て、30 米ドル／人以上を目標に寄付を募ります。

(4) 米山記念奨学会活動を推進します。

米山月間の委員会アワー（10月10日）に米山記念奨学生をお招きしてスピーチをしていただき、米山記念奨学会事業への理解を深めます。また、会員の皆様のご理解を得て、普通寄付金は例年通りとし、米山月間には特別寄付をお願いします。

ガバナー補佐所感 ●西播第2グループガバナー補佐 中村孝秀様



こんにちは、

本日は、矢坂ガバナー公式訪問の事前クラブアッセンブリーに参加させていただきました。報告書を熟読させていただき、本日の会長並びに各委員長様の方針をお聞かせいただき、所感を簡単に述べさせていただきます。

本年度、片岡会長は、会員増強、特に若い会員の入会に尽力したいと述べられました。そして例会を含めたロータリー活動を、ワクワク感を持ってもらえる運営を行いたい。またクラブ奉仕部門の委員会を細分化することにより、すべての会員が、「参画・参加」を実感し、これまでのムード・風土・熱気を改善したいという思いを語られました。会長の強いリーダーシップのもと、アクティブな一年になることを期待しています。

地区補助金事業として、「こども日本語支援入門講座」を8月から複数回実施され、たつの市在住外国人小学生の日本語教育に寄与されるのと、今後も地域に根ざしたロータリー活動

をお願い致します。また昨年に引き続き、障害者支援施設「しろう自立の家」においてクラシック演奏会の開催も、ロータリーを広く知っていただく一助になればと思います。また、他の各委員会も、基本方針にそって、有意義でアクティブな活動をしていただけるものと期待しています。

さて、龍野ロータリークラブの構成ですが、会員数 29 名、平均年齢 64 歳ですので、若い会員をぜひ増やしていただきたいと思います。

最後になりますが、西播第二グループの I M を 11 月 30 日（土）に、ホテルモントレ姫路で開催いたします。ホストクラブとして、会員の皆様の絶大なる協力をお願い致しまして、所感とさせていただきます。